

中学校 1年 地理的分野

1 単 元 「身近な地域を調べる」

2 単元の目標

- (1) 身近な地域に対する関心を高め、その観察や調査などの追究活動に意欲的に取り組み、身近な地域の特色をとらえようとする。
- (2) 身近な地域の地理的事象から課題を見だし、それを環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に追究することができる。
- (3) 身近な地域に関する観察や調査、地図や統計その他の資料の収集を行い、必要な情報を適切に選択して活用することができる。また、地域の特色を追究し考察した過程や結果をまとめたり、発表したりすることができる。
- (4) 身近な地域の特色とともに、市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法などを理解することができる。

3 指導計画（14 時間完了）

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項
<p>1 校舎の屋上から学校の周囲を眺め、単元の学習問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>わたしたちが暮らす地域の特色を調べよう。</p> </div>	<p>○ 周囲を概観させ、気付いたことを発表させる。 ○ 方角によって様々な景観が見られることに気付かせる。 評 方角の違いによる地形の違いに関心をもち、その特色を調べようとすることができる。 (観察・発表, 関心・意欲・態度)</p>
<p>2 学習問題に対して自分なりの予想を立て、問題解決のための見通しをもち、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な種類の地図の比較 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地形図 ・ 道路地図 ・ 住宅地図 ・ 案内図 ・ 点字地図 	<p>○ 地図から分かることや分からないことがあることに気付かせる。 評 地図に関心をもち、身近にある様々な地図を集めたり、調べたりすることができる。 (発表, 関心・意欲・態度)</p>
<p>3～5 地形図を用いて身近な地域の特色を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 方位や縮尺について ○ 地図記号について調べ、土地利用図を作成する。 ○ 等高線について調べ、段彩図や断面図を作成し、土地の起伏の特色を思考し判断する。 	<p>○ 校区の地形図や航空写真を使い、生徒の関心を高めるようにする。 評 等高線や地図記号がもつ意味を理解することができる。 (観察・ノート点検, 知識・理解) 評 縮尺の違いによって地図の表現に差があることを説明することができる。 (発表, 技能・表現) 評 等高線に合わせて着色し、見やすい段彩図や正確な読み取りを基に断面図を作成できる。 (点検, 技能・表現)</p>

<p>6・7 フィールドワークの計画を立て、フィールドワークを行う。 <準備物> ルートマップ，地形図，方位磁針，筆記用具，カメラ，ビデオ，テープレコーダーなど</p>	<p>○コースごとにルートマップを作成させる。 ○コースごとに観察の視点を明確にさせておく。 評 フィールドワークに関心をもち，意欲的な態度で観察することができる。 (観察，関心・意欲・態度) 評 観察事項を自然・産業・地域とのつながりなど多面的にとらえることができる。 (ノート点検，思考・判断)</p>
<p>8 フィールドワークをもとに各自の追究テーマを設定し，追究の計画を立てる。 ・自然 ・産業 ・歴史 ・他地域との結び付き ・地域の将来</p>	<p>○愛知エースネットコンテンツを基に，自分の住んでいる地域にある素材を検討し，資料とさせる。 評 地域の様子に関心をもち，計画を立てることができる。 (観察，関心・意欲・態度)</p>
<p>9～11 追究テーマに従って地域調査を行う。</p>	<p>○愛知エースネットコンテンツを基に現地での見学や聞き取り調査，資料館での調査を行わせる。 ○必要に応じて，授業後や休日を有効に利用し，市役所や農家などへ出掛け，聞き取り調査を行わせる。 評 様々な事象と人々の生活とのかかわりについて考え，社会事象を多面的にとらえることができる。 (資料点検，思考・判断) 評 愛知エースネットコンテンツや現地調査をもとに，必要な資料を収集することができる。 (観察，技能・表現)</p>
<p>12・13 追究結果のまとめを行う。</p>	<p>○調査結果をグラフや分布図，写真などを取り入れた報告書にまとめ，発表のための原稿や資料を作成する。 評 調べたことを資料化し，効果的にまとめることができる。 (資料点検，技能・表現)</p>
<p>14 発表会をし，学習のまとめをする。</p>	<p>○感想を含めてわかりやすい発表に心掛けさせる。 評 写真・資料・絵などを使い，わかりやすい発表をすることができる。 (観察・資料点検，技能・表現)</p>